

繊維製品の紫外線遮蔽評価試験が JIS 化されました

▶▶ JIS L 1925 に対応した試験のご案内 ◀◀

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(本部:東京都台東区蔵前、理事長:駒田展大)は、先ごろ制定された JIS L 1925 に対応する紫外線遮蔽率評価試験を受託開始しました。

紫外線遮蔽評価試験の動向

これまで日本では、繊維製品の紫外線遮蔽率測定評価には、アパレル対策協議会が制定した「アパ対協法」が広く用いられてきました。一方で、スポーツ用衣料等には、オーストラリア/ニュージーランド規格である「AS/NZS 4399」が用いられてきました。先ごろ制定された JIS L 1925 では、JIS に沿った紫外線遮蔽率、UPF 等級の測定が可能となりました。

JIS L 1925 とその他の紫外線遮蔽評価方法の違い

先述した各紫外線遮蔽評価試験では、測定する紫外線波長域の範囲が異なり、アパ対協法では 280nm~400nm であるのに対し、JIS L 1925 及び AS/NZS4399 は 290nm~400nm となっています。次に、JIS L 1925 では AS/NZS 4399:2017 版と同じく 1nm 毎の紫外線透過率を測定します。等級表示の範囲については注意が必要であり、JIS L 1925 では 15~50+までの 9 つの等級を採用しています。これは従来版である AS/NZS 4399:1996 版をもとにしています。以下の比較表をご参照下さい。

| JIS L 1925 ≡ AS/NZS 4399:1996 版 | | | | AS/NZS 4399:2017 版 | | |
|------------------------------------|----------------------|--------------|-----|--------------------|----------------------|--------|
| UVR 防護分類 | 有効 UVR 透過率% (目安値) | UPF 等級 | UPF | UVR 防護分類 | 有効 UVR 透過率% (目安値) | UPF 等級 |
| 紫外線遮蔽効果 低い | | | | | | |
| Good protection | 6.7~4.2 | 15、20 | 15 | Minimum | 6.7%以下 | 15 |
| | | | 20 | | | |
| Very good protection | 4.1~2.6 | 25、30、35 | 25 | Good | 3.3%以下 | 30 |
| | | | 30 | | | |
| Excellent protection | ≤2.5 | 40、45、50、50+ | 35 | Excellent | 2.0%以下 | 50、50+ |
| | | | 40 | | | |
| 紫外線遮蔽効果 高い | | | | | | |

ニッセンケンでは JIS L 1925 をはじめ各規格に沿った紫外線遮蔽評価試験の測定を承っております。

試験の詳細に関するお問い合わせ先 — お問い合わせをお待ちしております。

東京事業所 蔵前ラボ 〒111-0051 東京都台東区蔵前 2-16-11 5F
Tel: 03-5809-1360 Fax: 03-5809-1361 E-mail: tokyo@nissenken.or.jp

試験のご依頼は、お近くの事業所までご連絡ください。